

大阪・関西万博 課題の変遷

テキストマイニング

6班

-背景-

- ・「社会がどのように変化したか」を分析する
→社会がどのようなことに関心を持っているか
- ・計画から開催、終了後まで長く報道されている
→時期によって注目されている課題が変わっているのでは？
- ・比較がしやすそう

-目的, ゴール-

- ・開催前
- ・開催中
- ・開催後

それぞれの時期において、どのような問題・課題が語られていたのかを比較、整理し、

大阪・関西万博がどのように捉えられてきたのかを考察する

-分析方法-

神奈川大学データベース 朝日新聞クロスリサーチより

- ・開催前 (2024/04/12~2025/04/12)
- ・開催中 (2025/04/13~2025/10/13)
- ・開催後 (2025/10/14~2025/12/02)

検索条件
「大阪万博 AND (問題 OR 課題)」



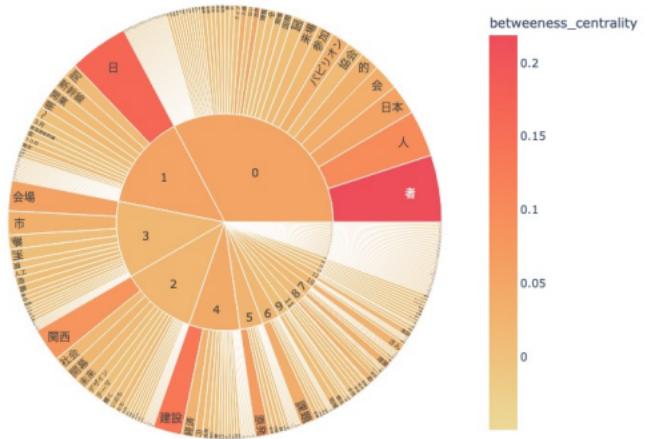
時期ごと(開催前, 開催中, 開催後)に記事数、文字数に差があるため、単語頻出数では比較が十分にできない

また、分析時の設定に工夫が足りなかつたため、サンバースト分析もあまり意味を成していない

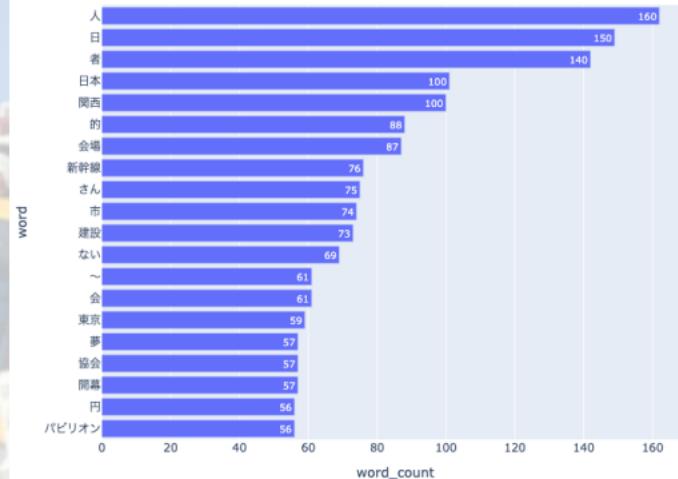
そのため本分析では。語と語の繋がりから中身を読み取ることができる「共起ネットワーク」を中心に結果を整理、分析する

-結果(開催前)-

サンバースト



単語頻出



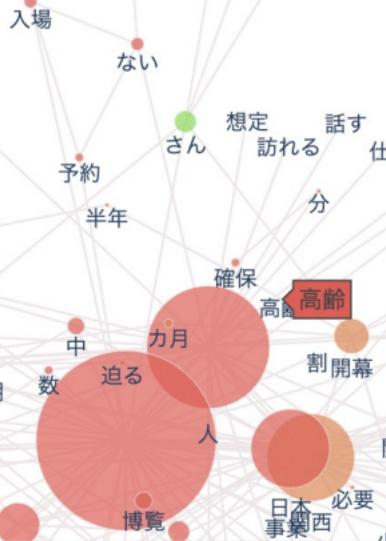
チケット 紙

販売

購入

前売り

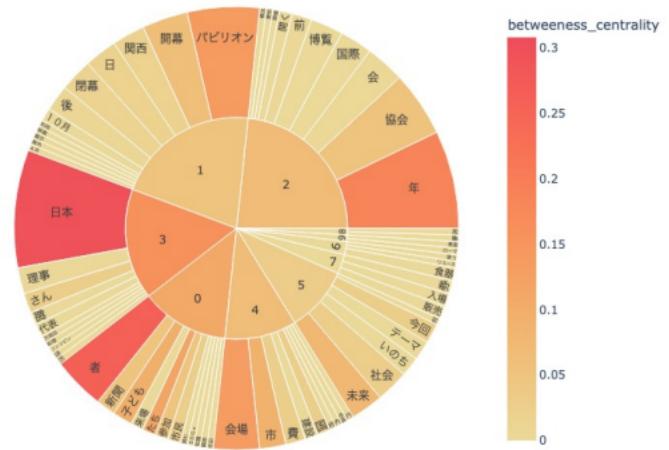
券



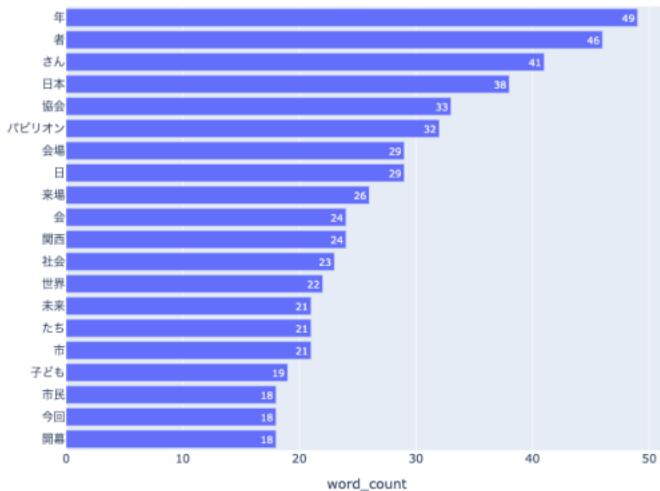
→ 建設、チケット販売、入場予約やチケット確保、万博のテーマ
= 計画や準備 に対する話題

-結果(開催中)-

サンバースト

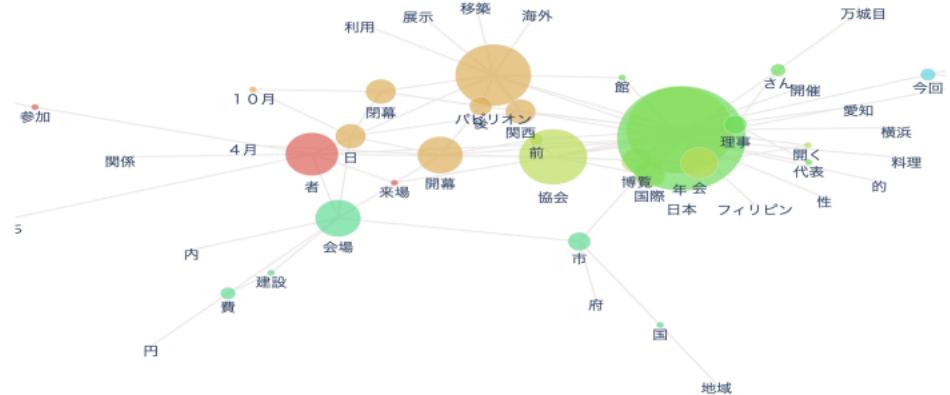


単語頻出



→ パビリオン の出現割合増加

共起ネットワーク



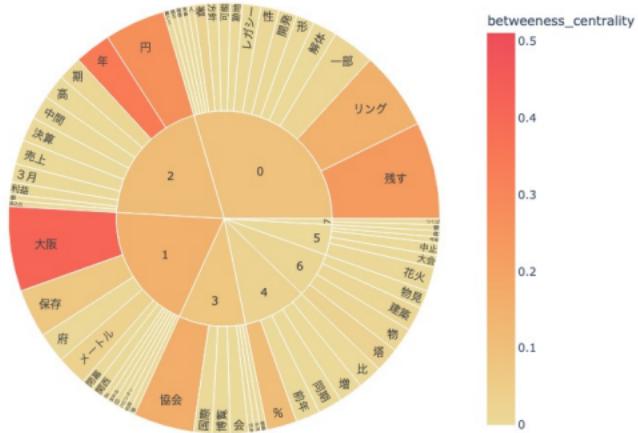
→ パビリオンの中身、会場建設費、閉幕

→ 開催中にも関わらず、閉幕を意識した語が見られる

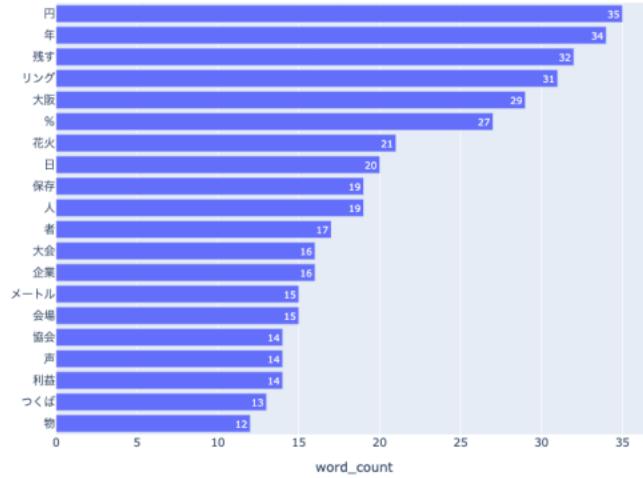
= 進行中の万博に対する 現実的 な話題

-結果(開催後)-

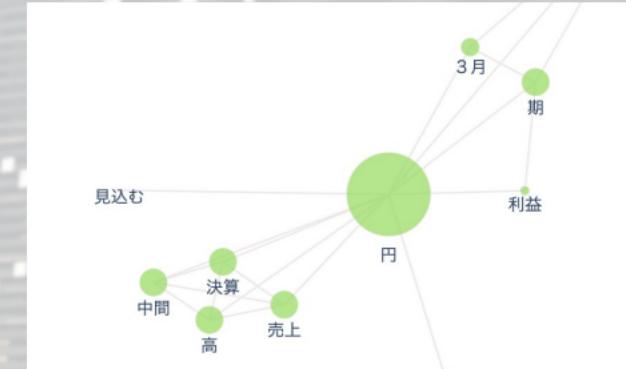
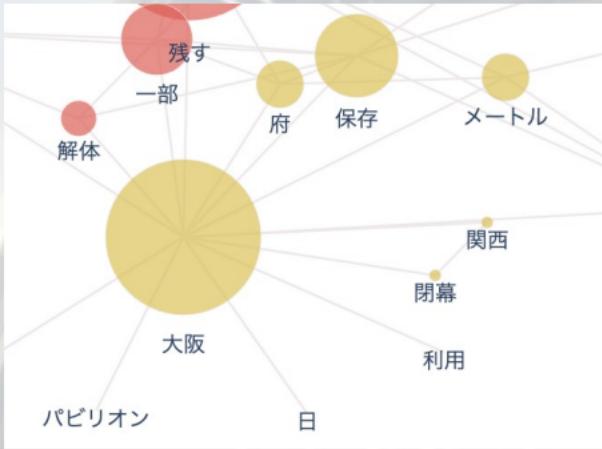
サンバースト



単語頻出

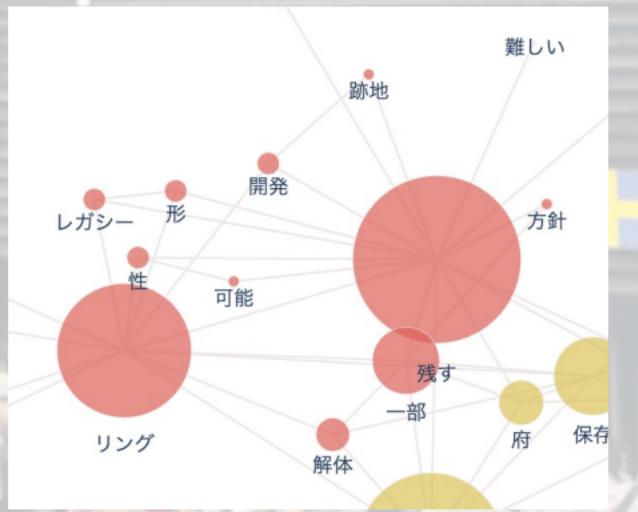


→ リング, 残すの出現割合増加↑



→ リングの保存と活用、利益や売上げ
花火大会の代替実施
(今年中止になった全国の花火を万博で)

= 万博の評価とその後の活用



-課題の移り変わり-

- ・開催前：計画・準備・テーマ（将来（開催）への不安）
- ・開催中：費用・展示（進行中の評価）
- ・開催後：成果・活用（結果の検証）

「未来」→「現在」→「結果」
と移り変わっていった

-考察-

課題の移り変わりの整理より

開催前は「未来への計画」「空想上への不安」→ **構想**

開催中は「進行中の事業への評価」→ **事業**

開催後は「結果や活用」→ **評価対象**

と万博の捉われ方が変遷してきたと考えられる

-今回の分析の問題点・改善点-

- ・各期間で文字数に大きな差があった
→ **文字数**をできるだけ揃える
- ・記事抽出条件に比べ、分析時の設定を十分に調整できなかった
→ **考察に適する設定**をいくつか模索し、**統一**する
- ・上記2つにより、サンバーストと単語頻出の結果が
あまり考察に繋がらなかつた